

たくさんの笑顔と熱気に感謝！

10 月 17 日(土)、「第 31 回泉地域ふれあい祭」を開催しました。秋晴れの爽やかな風が吹く中、焼きそばや豚汁の模擬店や、子どもから大人まで楽しめる遊びコーナーがあり各所ではたくさんの笑顔があふれ賑わいました。

中学生ボランティアも大活躍。

ご来場いただいた皆様、そして開催にあたり多大なるご協力をいただきましたすべての関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。





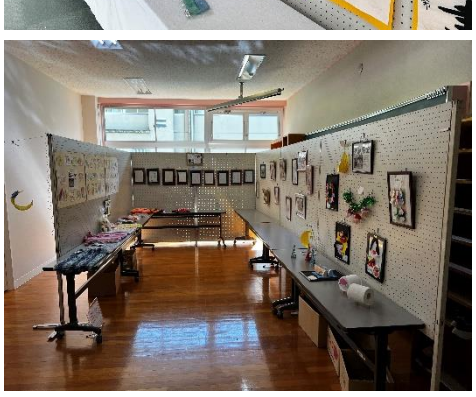

心温まる力作が集結！“芸術の秋”

10 月 17 日(土)・18 日(日)、「第 46 回泉地区作品展」を開催しました。会場には地域のみなさまによる力作の数々がずらりと並び、訪れた方々の目を楽しませてくれました。

ご出展いただいた皆さま、そして足をお運びいただいた多くの皆さま、ありがとうございました。







芸能発表会を開催します

泉公民館で活動している講座生やサークルの皆さまが、日ごろの練習で磨き上げてきた歌や踊り、楽器演奏などの多彩なパフォーマンスを披露します。

これまでの練習の成果を発揮する晴れ舞台です。

今年は、会場を泉体育館に変えて行います。出演者の皆さまの熱気あふれるステージを、ぜひ会場でご覧ください。

皆さまのご来場を、心よりお待ちしております！

日　時/11 月 29 日（日）10:00～12:30
会　場/泉体育館
入場料/無料
【出演団体】
・いずみ歌おう会
・泉カラオケ
・コカリナくるみ
・詩吟（竜真流）
・松川流泉会









正月飾りを作ろう

手作りのしめ飾りで、新しい年を迎えませんか？

日　　時/12 月 4 日(金)　13:30～15:30
場　　所/泉きずな館　いこいず
定　　員/10 人　※先着順
参 加 費/1,000 円　※当日集金
申込方法/11 月 20 日(金)までに、泉公民館へ電話でお申し込みください。



泉地区むらづくり推進会議事業

新春講演会「アイヌ文化にふれる」

アイヌ文化活動アドバイザーによるアイヌの伝統や文化、アイヌ語の講話や楽器演奏を行います。※内容の一部が変更となる場合があります。

日　　時／令和 9 年 1 月 7 日(木) 13：30～15：00
会　　場／泉公民館 2 階　会議室 5
定　　員／80 名（先着順）
参 加 費／入場無料
申込方法／12 月 17 日(木) までに、泉公民館へ電話でお申し込みください。



集落支援員えんどうの泉わくわく日記



９月に旧長井小学校跡地キャンプ場で、栃木県主催の自主防災組織リーダー養成講習（上級編）が開催されたため、見学させていただきました。

この講習は、基礎講習を受講したことのある行政区や自治会などの防災リーダーを対象としたもので、栃木県各地から約 60 名（うち矢板市から 7 名）が参加しました。また、宇都宮大学地域デザイン科学部の学生 60 名も、授業の一環として参加していました。



災害時に学校が避難所となったとき、どのような部屋や機能が必要かを考える実践的なワークショップは、学校の面影を残しながら、現在もキャンプ場として利用されている旧長井小学校だからこそ実施できたものです。

日本に住む外国人の方々と一緒に防災を考える「防災キャンプ」の会場として利用されたこともあり、旧長井小学校が、防災訓練の場として広く知られるようになるかもしれませんね！



今年も、7 月の熊本地震や 8 月の千葉での豪雨など、各地で自然災害が発生しました。近年、豪雨をはじめとする自然災害は頻発・激甚化しています。日頃からの備えを心掛けたいですね！

地域で防災訓練を実施してみたいというご要望がありましたら、ぜひ集落支援員までお気軽にご相談ください。

（矢板ふるさと支援センターTAKIBI　TEL 0287-47-7017）



いずみ・時の旅

■武人それとも文人？



山縣有朋（やまがたありとも）

山縣有朋公の肖像画を見ますと、眼光鋭く人を圧するようなオーラを感じてしまいますが、皆さんはいかがでしょうか。正に軍人の鏡、軍人中の軍人と言えるでしょう。しかし、有朋公は歌集を出すほどの文人であったことは、余り知られていないようです。そこで今回は、文人としての有朋公を紹介してみることといたします。

天保 9（1838）年 6 月に、現在の萩市に生まれた有朋公ですが、幼いうちから父親の徹底した歌詠みの手ほどきを受け育ちます。父親というのは、藩内でも知られた歌詠みの達人でした。これは、明治 34 年有朋公が 64 歳の時に詠んだものです。

「おひしげれ松よ小松よ大君の　めぐみの露のかかるいほりに」

明治天皇から下賜された松の苗木を京都にある無鄰菴（むりんあん）に植えた際のものです。当時、絶対神的存在の天皇から品物を拝領（はいりょう）するということは、この上ない名誉なことでした。その深い感謝の念が表れた歌と言えるでしょう。

次の歌は「かたりあひて尽しし人は先立ちぬ　今より後の世をいかにせむ」これは、松下村塾以来 50 年にわたって苦楽を共にしてきた竹馬の友の伊藤博文が、明治 41 年にハルピンで暗殺された際のものです。実は、この歌は令和 4 年 9 月に行われた安倍首相の国葬の際に、官房長官として 7 年 8 ケ月支えた菅首相が弔辞で引用していたものです。安倍首相が読みかけだった書籍「山縣有朋」の、有朋公のこの歌には印が付いていたそうです。それを見つけ、自身の心情に重ねたのでしょう。

最後は、地元農場にある二本木の笠松を詠んだ歌で閉めることといたします。「かえりみぬ人こそなけれ伊佐野山　世に珍しき松の姿よ」

郷土史家：白石・記



●編集後記

朝晩の冷え込みに本格的な秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

10 月は、地域の絆を深める「泉地域ふれあい祭」や、日頃の文化活動の成果が光る「泉地区作品展」など、たくさんの笑顔と活気にあふれる行事が開催されました。足を運んでくださった皆様、準備・運営にご協力いただいた関係者の皆様、本当にありがとうございました。

さて、木々は日ごとに色鮮やかさを増し、まもなく冬支度の季節へと移り変わります。風邪など召されませぬよう、どうぞ温かくしてお過ごしください。

木もれ陽ホームページへ



泉公民館
〒329-2504 矢板市泉 526
TEL　0287-43-0402
＜月・祝 休館＞